

## 反復トレーニングで 「やればできる」 を育てよう！

### ① 主体性を養う

自らテーマを決めて



### 発信力を高める ②

考えをまとめて



### ③ 否定はしない

他の生徒は発表を聞く



### 中立の立場 ④

講師は  
あくまで進行役



#### ▼本紙 5 ページ参照 アクティブラーニング・アナウンサー体験(全6回)

今よりもっと気持ちが伝わる「話し方」に  
チャレンジしましょう♪  
1/20～3/31(土)  
(1/27、2/10・24、3/10・24除く)  
午後2時～3時30分  
対象：小学3年生以上  
定員：15人 料金：6,000円

## アクティブ・ ラーニングのすすめ

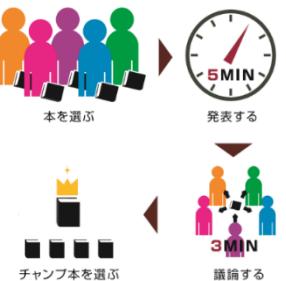
教育界では、ちょっとしたホットキーワードとなっているアクティブラーニング。従来のような知識の伝達・注入を中心とした学びではなく、自ら問題を発見し、解決していく能動的な学びを重視する学習法が注目されています。2020年には、「育成すべき資質・能力」として「個別の知識・技能」「思考力・判断力・表現力等」「学び向かう力・人間性等」3つの柱を立て、教育改革が行われます。今後、それらをいかにして学ぶべきか、様々な学習手段が問われるでしょう。日本のグローバル化に伴い、その重要性は増すばかりです。

表現力・発想力・集中力・コミュニケーション能力など、実社会・実生活で必要になる力を子どものうちから育てていくことはとても大切なこと。中央本町センターでは、1月にアクティブラーニングを取り入れたアナンサー体験の開催を予定しています。発声・発音・滑舌トレーニングやニュース原稿読み、リポーター体験を通して、自分の考え方をまとめ、相手へと発信していく力を学んでいきましょう！

# 発信力って何？



# 矢☆的書評合戦 ビブリオバトル



10月1日(日)午後3時、2フレースペースにて、ビブリオバトルを開催しました。他の図書館でも何度も参加経験があるというバトラーさん1名と、職員2名の計3名で開催することとなりました。バトラーとしては初参加の職員が最初に紹介したのは、「夜は短し歩けよ乙女」(森見富美彦／著 角川書店)。映画・漫画など多数メディアミックスされている、名作小説です。続いてもう1人の職員が発表したのは、作曲家ワーグナーは、実は犬好きのダメ人間だった!『愛犬たちが見たりヒヤルト・ワーグナー』(ケルスティン・デッガー／著 小山田豊／訳 白水社)です。書簡などに残る愛犬とのエピソードなどから、ワーグナーの素顔に迫ります。

最後に、ビブリオバトル公式サイトを見て来てくださった経験者バトラーさんが紹介してくださいましたのは、「議論入門」(香西秀信／著 筑摩書房)。5つの論法に当てはめて考えると、議論が分かりやすくなる、

11月は、11日のふれあいまつりでもビブリオバトルが開催されます。入門編・探検編の2部に分かれており、観戦は申込不要です。ぜひお越しください、新たなお気に入りの1冊を見つけてください。

説得力を持たせられる！面白い議論の実例も引用されてたくさん載っています。そこで、そこから他の本を探して読むのもおすすめだそうです。

今回のチャンプ本は、「議論入門」でした。テレビでコメンテーターの話を聞く際など、実生活にも役立つ1冊ということで、ぜひ読んでみたいと思いました。

#### 11月 ビブリオバトル開催日程

- ◆やよい図書館  
11日 午後3時～
- ◆梅田図書館  
11日 午後4時～  
26日 午後3時～
- ◆鹿浜図書館  
28日 午後3時30分～